



# 金谷川小だより

かなやがわ小フランドの創造

令和2年12月4日  
福島市立金谷川小学校  
児童数 81名  
校長 宋戸 与一

## 目と目で あいさつ

日増しに寒さがつのる季節となりました。子どもたちは、班長さんの指示で、右側1列で安全に登校できています。保護者の皆様、地域の皆様には、毎日子どもたちの登下校を温かく見守っていただき、本当にありがとうございます。

今年度は、新型コロナウイルス感染症対策で、マスク着用や3密を指導する機会が多く、元気なあいさつの指導が後回しになっています。マスク着用の状態では、大きな声を出すことが難しく、笑顔も分かりづらいのですが、私は、子どもたちの目を見てあいさつするようにしています。当初、恥ずかしさからか、なかなか目が合わない子どももいましたが、この頃は、多くの子どもたちが、私の目を見てあいさつします。中には、眠そうにしながらも、はきはきと「おはようございます」。さわやかな一日のスタートです。

今、子どもたちは、感染症対策の中で我慢し、工夫しながら学び、生活しています。その頑張りを力とするように、こんな時だからこそ、「目を見てあいさつ」を実践し、困難な状況に負けないで、気持ちから明るくしていきたいと考えています。

今以上に元気で明るいあいさつが響きわたり、さらに気持ちのよい笑顔あふれる金小になるよう、これからも、全教職員で粘り強く指導していきたいと思ひます。

### 感染予防策の実施と、緊急時に柔軟に対応できる学校行事の企画・運営

これからの季節、インフルエンザなどの流行の可能性もあり、行事などを予定しても延期・中止等の場合もあるかもしれません。しかし、大切なことは、「行事を実施した／しない」ではなく、「行事のねらいを達成した／しない」だと思います。行事の企画段階から準備を進め、万が一の事態が生じて、柔軟に対応できるような用意をととのえてまいります。

このような取り組みができるのは、金谷川小では家庭や地域と学校が連携し、スクラムを組んで子どもたちを応援しているからだと思ひます。今後の状況によっては、予定を変更せざるをえない場面があるかもしれません。そのときは、また、迅速な対応を考えてまいります。ご理解いただきたいと思ひます。

### 「火事だー」 総合避難訓練

福島南消防署の皆さんにご協力いただき、火災を想定した避難訓練と消火訓練を実施しました。先生方と子どもたちが消火器を使って訓練しました。火事を発見したら、「火事だー」と大声で周りの人に知らせることなどを教えていただきました。非常事態はいつ起こるかわかりません。日頃からしっかり訓練をして、とっさの時に落ち着いて対応できるように取り組んでまいります。

